

認定 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第 109号 (R2.9.6)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



はじめに 早9月となりましたね。我が家の庭のサルスベリがきれいな薄紅色の花をつけています。でもこれまでにない勢力の台風が九州に接近中で、早くから備えなさいと報道が連日なされており、大きな被害が出ないことを祈るばかりです。コロナウイルス感染症の影響が幅広く及ぶ中での今度の台風10号、本当に心配になりますね。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大では、宮崎県も第2波に襲われ、多くの患者さんが発生し、日高がORMZのお世話ができなくなりご迷惑をおかけしました。

さて、当法人の活動もザンビアでの感染状況等からまだまだ再開の目途は立たない状況です。それでも活動できるようになったときに向けて準備は進めていますので、引き続きのご支援よろしくお願ひします。今回のニュースでは、事務局活動やザンビアの新型コロナ感染症の状況などをお伝えします。

*雲の晴れ間に写したサルスベリ

事務局活動報告

前号で、現地の状況を連絡してもらっているマコトさんを通じて、日本から現金をザンビアへ送金し、辺地で足りなくなっている薬を届けることを考えていますとお伝えしましたが、国際送金がなかなか厳しくなっていて、ゆうちょ銀行からの送金はできませんでした。それでもなんとか別の方法でようやく少額ですが送金することができました。同じ方法で再度送金し、現地スタッフの感染対策や、医薬品の購入とそれらの各地への配送をお願いする予定です。その際もマスク着用等感染防止の徹底を図り、できる限り現地での滞在時間を短くするようお願いする予定です。

また以前応募していた「社会貢献支援財団」から最終審査としての現地確認がありました。これまでの活動の概要を説明するとともに、各種書類の確認をしていただきました。今月半ばには最終決定があるとのこと、受賞が決定しましたら皆さんと一緒に喜びを分かち合いたいと思います。

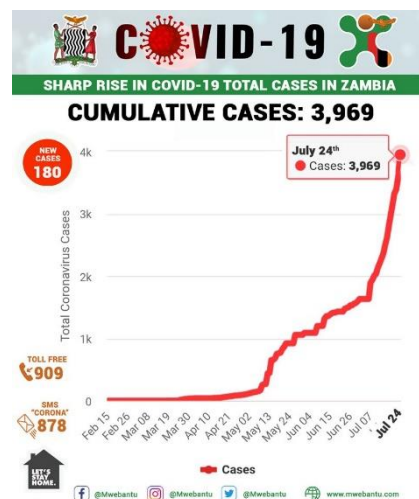


ザンビアの新型コロナ感染症等の状況 (Mwenya Makoto 氏情報)

少し古くなったのですが、マコトさんからの情報「2020年7月27日のコロナウイルス (Covid-19) の最新の状況」をお伝えします。ザンビアでも患者が急増しているようです。

1) 7月、特にこの3週間で、ザンビアのコロナウイルスに関して事態が非常に悪化しました。7月25日土曜日には、ザンビアで最初の2症例が報告された2020年3月18日以降、これまでで最高の数、472例の陽性者を記録しました。

政府が6月に規制を緩和したとき、多くの人々が過度にリラックスし始め、多くの人々がフェイスマスクの着用をやめました。残念ながら多



くのザンビア人は、「ザンビアにはコロナはない」と「コロナはでっち上げだ」とさえ言い始めました。

その結果、7月に大きな急上昇がありました。特に死者が増えており、死後の Covid-19 検査で陽性となった BID (brought-in-dead) のケースが多くなっています。現在は平均して 1 日あたり 150 件の陽性者が記録されており、未検出のケースはさらに多いと考えられています。

私たち (マコトさん) の教会は患者急増のため先週閉鎖されました、すべてのメンバーは現在、自宅からオンラインサービスだけを見えています。また、先週 Covid-19 で亡くなったある女性の夫は国会議員でした。保健省 (MoH) は、コミュニティの一部の人々は病院に行くことを恐れている、発症の報告が遅くなるために BID が増加しているのではと疑っています。

●保健大臣の Chitalu Chilufya 博士は、ザンビアで行われた調査の結果、公衆衛生対策に従っていない不注意な状態が高まっているために、ルサカは現在、ホットスポットに逆戻りしたと言っています。今日では、公衆の面前でマスクを着用している人が少なく、公衆衛生や社会的措置を実施している公共の場所が少なく、レストラン、商店街、市場、公共交通機関等の公共の場所に、社会的措置や公衆衛生対策を遵守せずに人々が集まっています。大臣は、今後も症例数と死亡者数の増加が続くと警告を発しました。

●保健省は、定期的に収集される全国データから、2020 年 1 月から 5 月までの間に死亡した人の数が、2019 年の同時期と比べてほぼ 2 倍に増加していると指摘しています。 -出典：ザンビア保健省



2) 多くの外国人や駐在員が帰国しました。ザンビアに入国する旅行者は、Covid-19 の最新のテスト結果が陰性であることを示すことを求められています。

3) 保健省は、人々に対し、Covid-19 の危険性について情報と警告を一生懸命提供していますが、多くのザンビア人はそれを真剣に受け止めていません。

また、ザンビアには人工呼吸器はほとんどありません (国内では 122 台のみ)。

4) 最新情報 -ケース総数：4,481 -総死亡数：139 -回復：2,350

*9 月 4 日時点の情報 感染者 (12, 381) 死亡者 (290)

賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について

・2020 事業年度 (事業年度は 1 月から 12 月) の賛助会費 (個人一口 5000 円、団体一口 10000 円、一口以上) 及びご寄附 (金額は問いません) のご協力をよろしくお願いいたします。

・当法人は認定 NPO 法人 (2020 年 1 月から 5 年間の認定更新を受けています) であり、ご寄附 (賛助会費含む) をいただいた際には、翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書 (賛助会費も寄附金と同様税控除の対象) をお届けします。

・ご不明の点は日高 (info@ormz.or.jp または hidaka1956@gmail.com) までご連絡ください。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号 01720-9 口座番号 126351

加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 口座記号：01720-9 、口座番号：0126351

加入者名 : NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称 (全角) : トクヒ) ザンビアノヘンチイリョウヲシエンズルカイ

◎郵ちょ銀行からの通知書にカタカナ氏名のみで住所の記載の無い方がおられます。

◎寄付受領証明書送付のため住所の記載、もしくは電話番号の記載をお願いします。

多くの皆様のご支援を心からお願い申し上げます。